

資料

第1回 豊岡市公営企業審議会

豊岡市上下水道部
2022年11月28日



審議会委員名簿 (2022. 11. 28現在)

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属	区 分
さかもと しょうぞう 坂 本 昇 造	豊岡商工会議所副会頭	市 民
さくはな なおひさ 作 花 尚 久	税理士	市 民
しまさき えいこ 島 崎 栄 子	(一社) ちいきのて事務局長	市 民
しもくら かずのり 霜 倉 和 典	豊岡市区長連合会理事	市 民
つづき よういちろう 都 築 洋 一 郎	兵庫県立大学国際商経学部准教授	学識経験者
なかやす よしえ 中 易 佳 恵	酒造業経営	市 民
にしむら しょういち 西 村 昇 一	豊岡市商工会専務理事	市 民
はしもと わかこ 橋 本 和 加 子	スポーツ店経営	市 民
まがた かつひさ 勾 田 勝 久	公益事業者 (豊岡エネルギー(株)代表取締役社長)	市 民
やまぐち たかひで 山 口 隆 英	兵庫県立大学国際商経学部長	学識経験者

任期 : 2022. 6. 1 ~ 2024. 5. 31

TOYOOKA

【目 次】

1 上下水道事業の現状と課題

2 上下水道事業の概要と今後の取組み

2－1 水道事業の概要と今後の取組み

2－2 下水道事業の概要と今後の取組み

3 水道料金の改定

4 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

4－1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

4－2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

1 上下水道事業の現状と課題

上下水道は、安全・安心な市民生活や企業活動に必要なライフラインであり、将来にわたって安定的にサービスを提供し続ける必要があるが、次の課題に直面している。

《現状》

◆ 人口減少、節水型社会への移行

- ➡ 有収水量の減少＝料金収入の減少
- ➡ 施設に余裕が生じる（施設の効率性低下）

◆ 広い市域に多くの施設が点在

- ➡ 多額の維持管理費

◆ 多くの施設の老朽化が進んでいる

◆ 災害に強い施設の構築＝耐震対策

- ➡ 更新・耐震化に多額の費用

《課題》

◎ 施設規模の適正化と効率的運用が必要

- ➡ 健全な経営の確保！！

2-1 水道事業の概要と今後の取組み

水道事業の概要 (2022. 3. 31時点)

行政区域内人口	78,348 人
給水人口	78,326 人
普及率	99.97 %
総配水量	12,091,584 m ³
有収水量	9,745,358 m ³
有収率	80.60 %
料金収入 (税抜)	1,520,865,718 円
供給単価 ※1	156.06 円
給水原価 ※2	169.57 円
管路延長	1,025 km

※1 供給単価 … 有収水量 1 m³当たりの料金収入

※2 給水原価 … 有収水量 1 m³当たりの給水に係る費用

2-1 水道事業の概要と今後の取組み

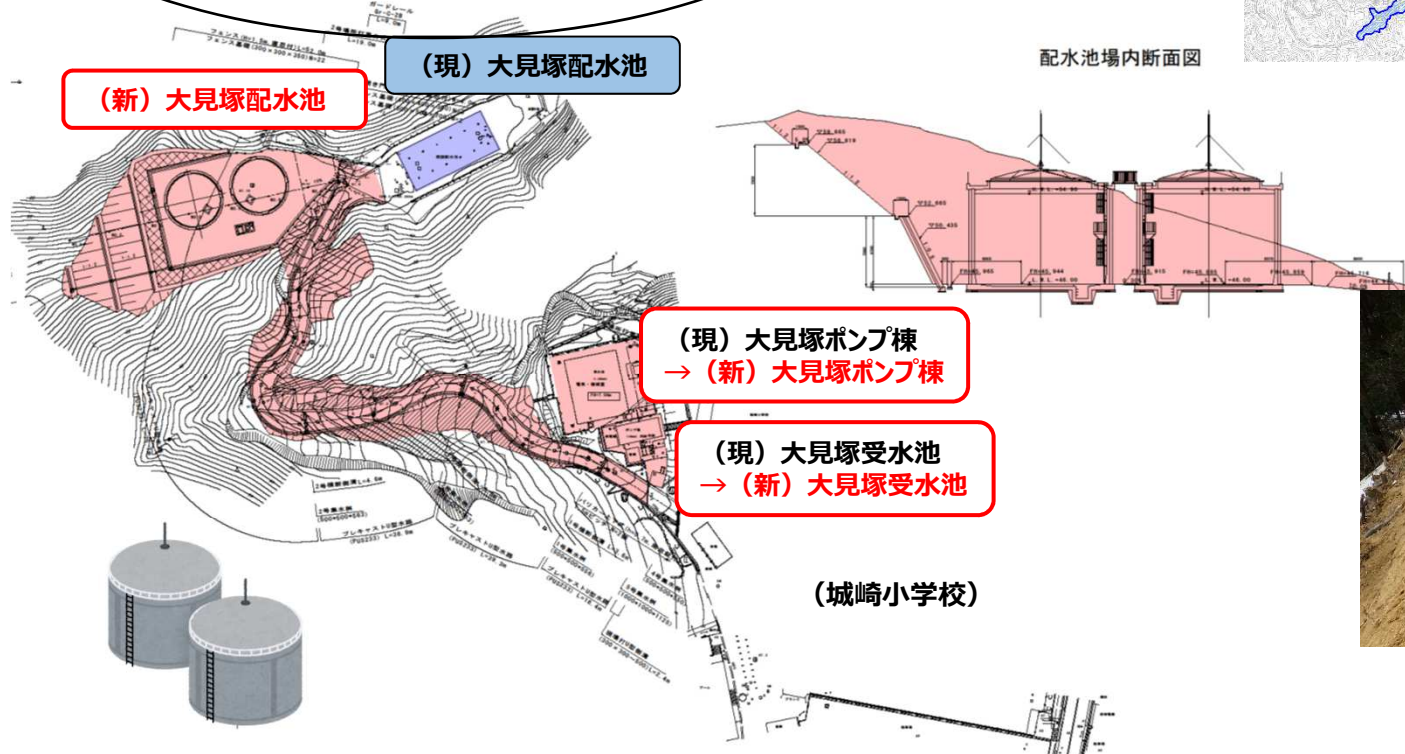
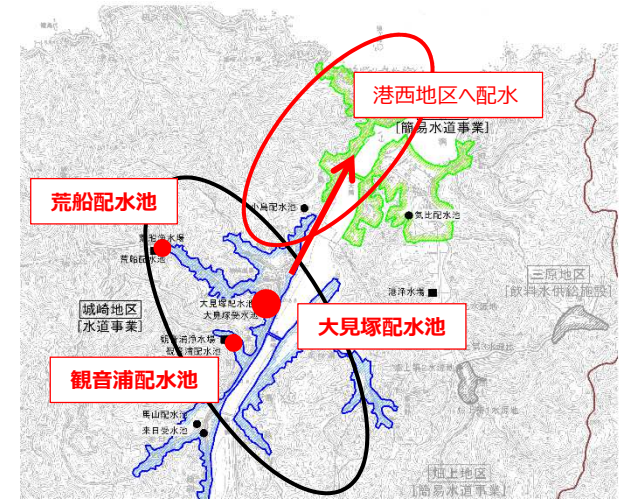
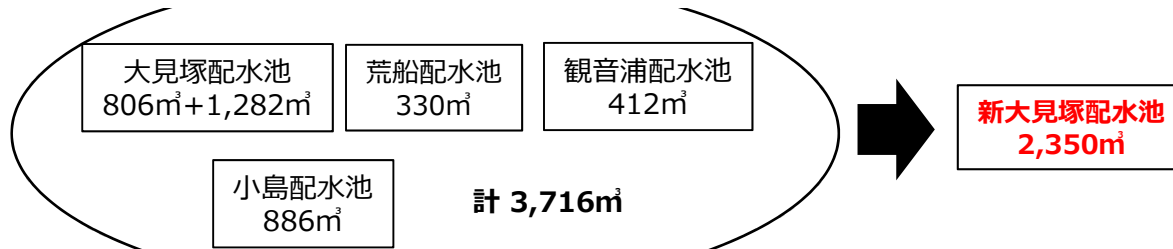
水道事業の今後の取組み

- 過去に集中的に整備した水道管などの施設の老朽化が進んでおり、今後、多額の費用が必要となります。老朽化が進むと、漏水や断水などの事故が発生するおそれが高くなるため、適切に更新を進めます。
- 主に人口減少に伴う水需要の減少から、既存の施設は給水能力が過大なものになりつつあります。施設のダウンサイジングや周辺施設との統廃合など、適切な更新を行うことで長期的な目線で支出を抑えるよう努めます。
- 毎年、全国各地で地震が発生していますが、豊岡市の基幹管路の耐震化率は17.3%と、全国平均40.7%を大きく下回っています（2020年度末現在）。老朽化した施設の更新と併せて耐震化を進め、地震時の生活用水・消火水の確保に努めます。

2-1 水道事業の概要と今後の取組み

大見塚受水池・配水池改築事業 (2017~)

大見塚配水池、荒船配水池、観音浦配水池を統合、港西地区へも配水
今後の水需要を考慮したダウンサイジング

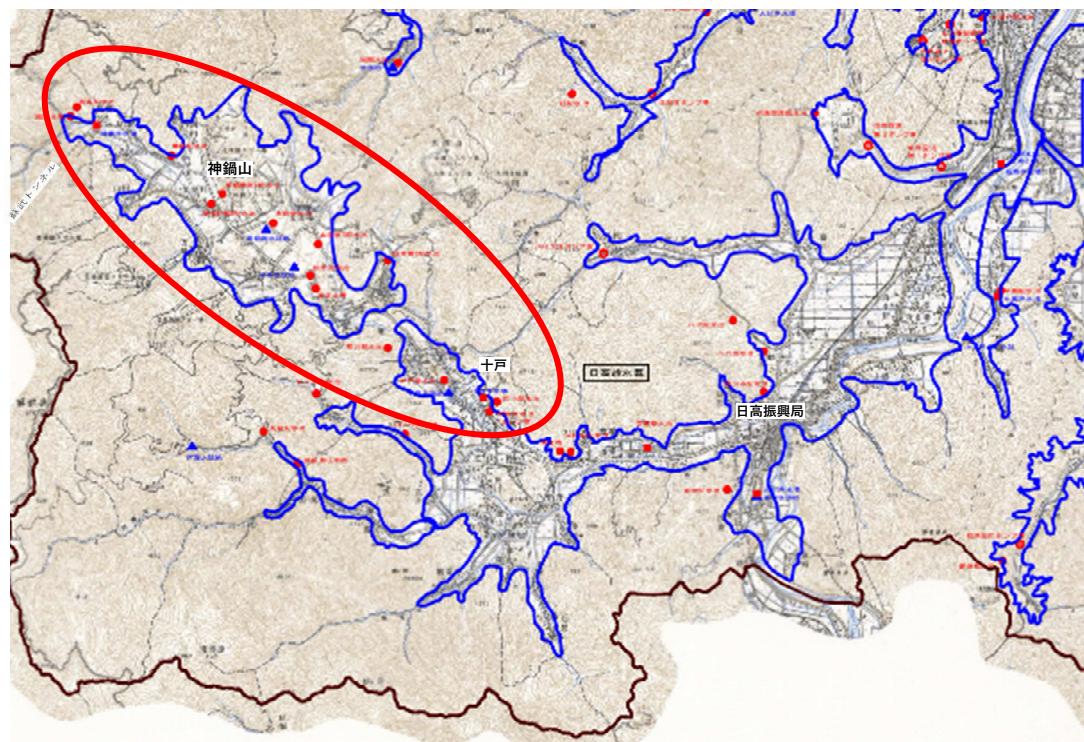


2-1 水道事業の概要と今後の取組み

日高給水区再編事業

神鍋水源の豊富な水を十戸方面へ供給することで清廉な水の安定供給を図るとともに、それに併せた施設の統廃合を検討している。

- 区域内の浄水場
3箇所⇒2箇所
- 区域内の配水池
10箇所⇒4箇所
- その他施設
ポンプ施設等



2-2 下水道事業の概要と今後の取組み

下水道（污水）事業の概要（2022. 3. 31時点）

行政区域内人口	78,348 人
処理区域内人口	77,786 人
水洗化済人口	73,711 人
普及率	99.28 %
水洗化率	94.76 %
総処理水量	10,214,550 m ³
有収水量	8,609,049 m ³
有収率	84.28 %
使用料収入（税抜）	1,530,408,115 円
有収水量 1 m ³ 当たりの使用料収入	177.77 円
有収水量 1 m ³ 当たりの汚水処理費用	380.01 円
汚水管渠延長	965.2 km

2-2 下水道事業の概要と今後の取組み

下水道（污水）処理区統廃合事業・施設の長寿命化事業

処理区数は、合併時54箇所であったが、より効率的な処理体制とするため、統廃合事業により23箇所の処理区に再編成する。（2012～2025）

統廃合事業実施後に残る23処理区の処理場は、延命化を図るため長寿命化を進めている。

地域	豊岡										出石				但東				城崎			竹野						日高																									
現況処理区数	13										7				7				6			12						9																									
事業名	公共	特環	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	小規模	小規模	小規模	小規模	農集	農集	農集	農集	特環	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	公共	農集	農集	農集	農集	特環	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	農集	特環	特環	公共	農集	農集	農集	農集	農集	特環	農集
処理区	豊岡	港	下宮	新田東部	三江東部	奈佐	五庄大浜	神美北部	田鶴野	中筋南部	神美南部	畑上	三原	小坂川治	小坂	出石	菅谷	上野・桐野	日野辺	寺坂	畑(永石)	但東西	平田	相田	但東北	高橋	河本	城崎	結	飯谷	来日	戸島	上山・二見	竹野	竹野中央	椒	桑野本	三原	宇日	田久日	須井	下村	銅山(二連原)	二ツ家	清滝	西気(栗栖野)	日高中央	赤崎	上郷	竹貫	八代	三方	知見
統合系統	←										←				←				←			←						←																									
存続処理区	豊岡										出石				高橋				城崎			竹野						清滝					日高中央																				
存続処理区数	3										1				2				5			10						2																									

※現況処理区欄の事業名の上に記載している数値は、統廃合事業の完了年度(西暦下2桁)を示しており、赤字は2022年度以降の予定年度となっている。

※処理区の廃止は、事業完了(予定)年度の翌年度4月1日とする。(西気のみ2012年12月27日に廃止)

※2022年4月1日時点での処理区数は32

2-2 下水道事業の概要と今後の取組み

下水道（雨水）事業の概要（2022.3.31時点）

◆ 地域別事業計画の状況

地 域	排水面積	計画雨水幹線延長
豊 岡	987 ha	22.3 km
城 崎	77 ha	1.6 km
竹 野	86 ha	4.2 km
日 高	496 ha	9.4 km
出 石	97 ha	2.2 km
但 東	-	-
合 計	1,743 ha	39.7 km

- ◆ 雨水幹線の延長 計 画：約39.7km
整備済：約15.5km（整備率約39%）

2-2 下水道事業の概要と今後の取組み

雨水事業の実施状況

福田排水区

全体事業

2018-2022年度

幅1.6m×高1.5～幅6.0m×高1.7m

延長 L=1023.5m

(2022年度 L=452m)

2021年度 福田排水区雨水幹線工事
完成写真 (水路 幅6m×高さ1.7m)



今後の取組み

◆ 雨水出水（内水）浸水想定区域図の作成

2021年度の水防法改正により下水道事業の雨水整備計画区域において、想定最大規模降雨に対する雨水出水（内水）浸水想定区域図の作成と公表が義務付けられた。

⇒ 2022年度から作成に向け準備

◆ 雨水幹線の整備

円山川本川の整備が進んできた中で、内水処理に対する市民の要望は高まっているが、雨水幹線の整備には多額の事業が必要となる。

⇒ 降雨時の浸水状況を確認するなどして、課題を整理し、効率的な整備の検討を行う。

3 水道料金の改定

2023年4月1日からの料金単価（税込）

基本料金 (1月につき) ※使用水量にかかわらず支払う料金	区分		現行単価
	メーター 口径	13mm	704 円
		20mm	1,408 円
		25mm	2,860 円
		40mm	10,010 円
		50mm	15,620 円
		75mm	40,700 円
		100mm	77,000 円

新単価	現行単価との比較
1,056 円	+ 352 円
2,090 円	+ 682 円
4,257 円	+ 1,397 円
14,850 円	+ 4,840 円
23,210 円	+ 7,590 円
60,830 円	+ 20,130 円
114,950 円	+ 37,950 円

従量料金 (1 m ³ につき) ※1カ月の使用水量に応じて支払う料金	用途		現行単価
	一般	1~10m ³	66.0 円
		11~20m ³	132.0 円
		21~30m ³	137.5 円
		31~50m ³	154.0 円
		51~100m ³	214.5 円
		101m ³ ~	220.0 円
	公衆浴場	71.5 円	
豊岡中核工業団地	77.0 円		
城崎町湯島財産区営浴場	132.0 円		

新単価	現行単価との比較
82.5 円	+ 16.5 円
137.5 円	+ 5.5 円
143.0 円	+ 5.5 円
154.0 円	—
214.5 円	—
220.0 円	—
77.0 円	+ 5.5 円
82.5 円	+ 5.5 円
143.0 円	+ 11.0 円

3 水道料金の改定

料金改定の考え方

- ① 料金算定期間は2022年度から2026年度の5年間です
※2022年度は据え置き
- ② 将来の投資費用である「資産維持費」を料金の中に含めています
- ③ 料金収入に占める基本料金の割合が3分の1になるよう設定しています
※現行単価での割合は4分の1程度
- ④ 従量料金は30m³までの単価を見直し、区分ごとの単価差を小さくしています

3 水道料金の改定

料金改定決定までの経緯

時 期	内 容
2020年4月	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2025年度の上下水道料金の検討を行う計画だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、検討を1年程度延期することを決定
2021年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡市公営企業審議会に対し「今後の水道料金・下水道使用料のあり方について」諮問
2021年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡市公営企業審議会から答申
2021年 10月～11月	<ul style="list-style-type: none"> 9月30日の答申を受けて市の方針を決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水道料金は2022年4月1日から改定。平均改定率は約17.3%。 ○ 下水道使用料は据え置き </div> 市議会説明会・市民説明会の開催、パブリックコメントの実施
2021年12月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会（令和3年12月定例会）において料金改定を提案 → 継続審査に
2022年2月	<ul style="list-style-type: none"> 1月以降の新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染急拡大による市内経済や市民生活への影響を考慮し、施行時期等の再検討が必要であると判断して市議会(令和4年2月臨時会)において議案の撤回を申し入れ → 承認
2022年5月	<ul style="list-style-type: none"> 撤回後、感染状況等を見ながら再検討して方針を決定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 料金改定の必要性和現在の社会情勢や市民生活を考慮し、改定時期を1年延期して2023年4月1日からとする ○ 値上げ内容は令和3年12月定例会提案と同じとする </div> 市議会全員協議会（5月13日）において説明
2022年6月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会（令和4年6月定例会）において再検討案での料金改定を提案 → 可決

3 水道料金の改定

料金改定についての周知

⇒ 6月議会での議決後、様々な媒体での周知活動を実施中

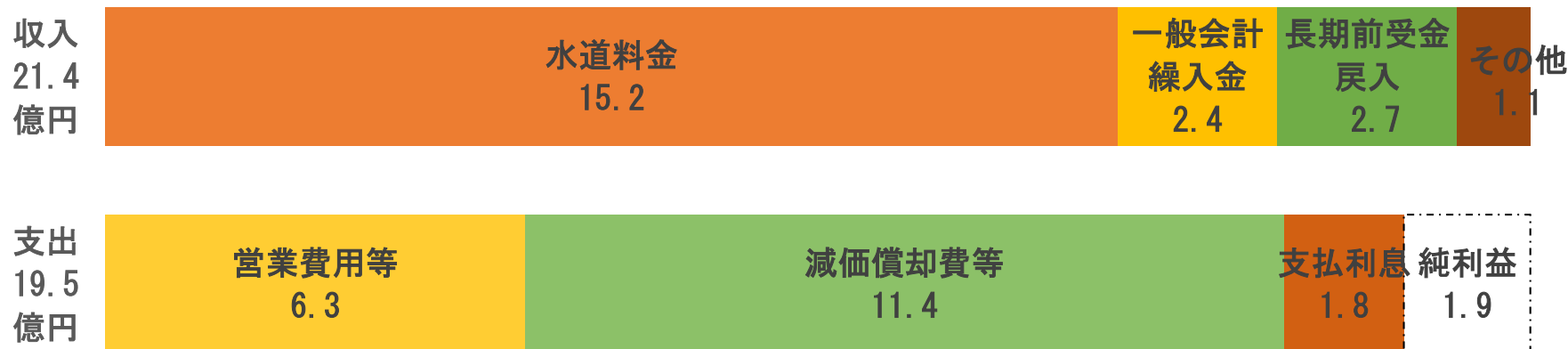
- 広報とよおか、市ホームページ、メーター検針時にポスティング
- 防災無線（市長放送）やFMジャングル（2022.7月）での発信
- SNS（市公式Twitter等）やYouTube動画などの活用

4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

2021（令和3）年度決算の状況

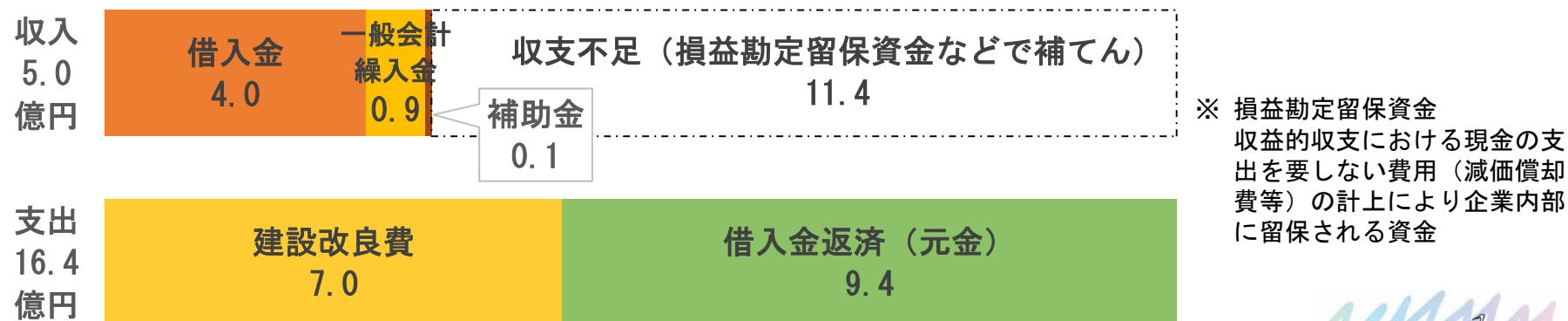
◆収益的収支（事業の管理・運営に関する収入支出）

単位：億円（税抜）



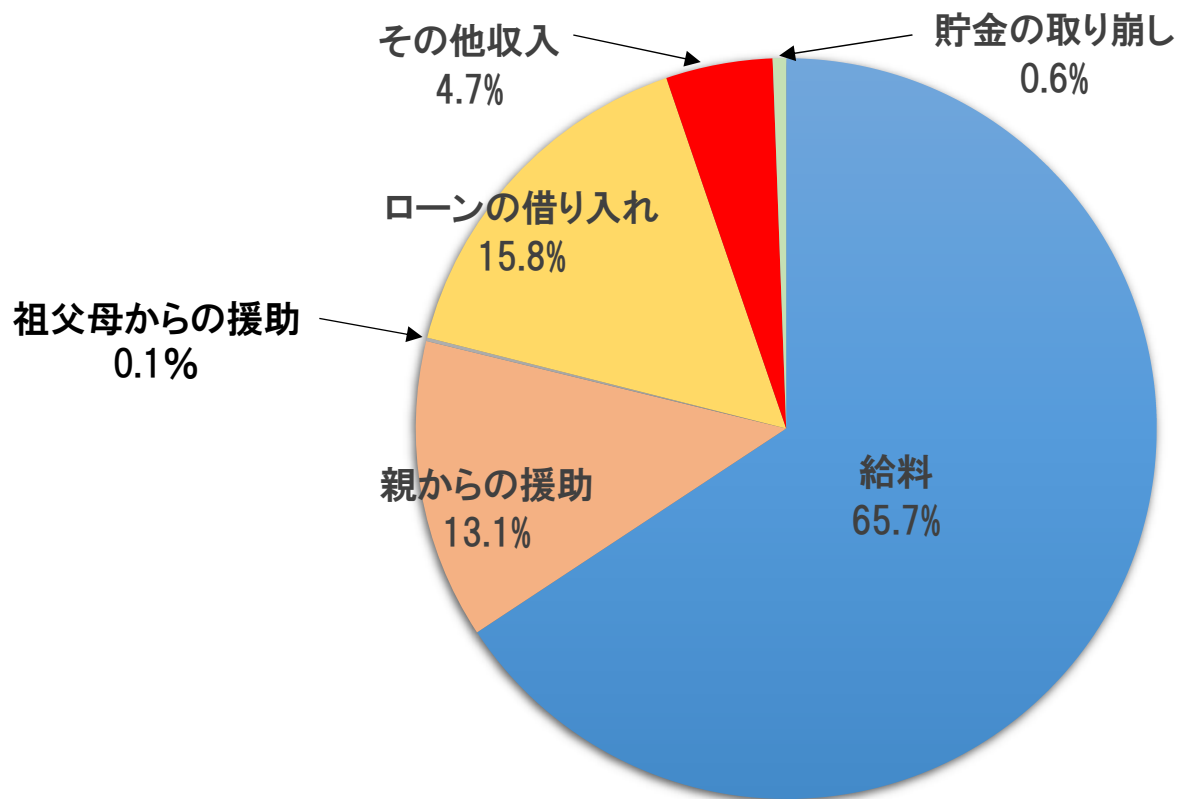
◆資本的収支（施設の建設・改良などに関する収入支出）

単位：億円（税込）



4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

家計簿に例えると… (収入編)



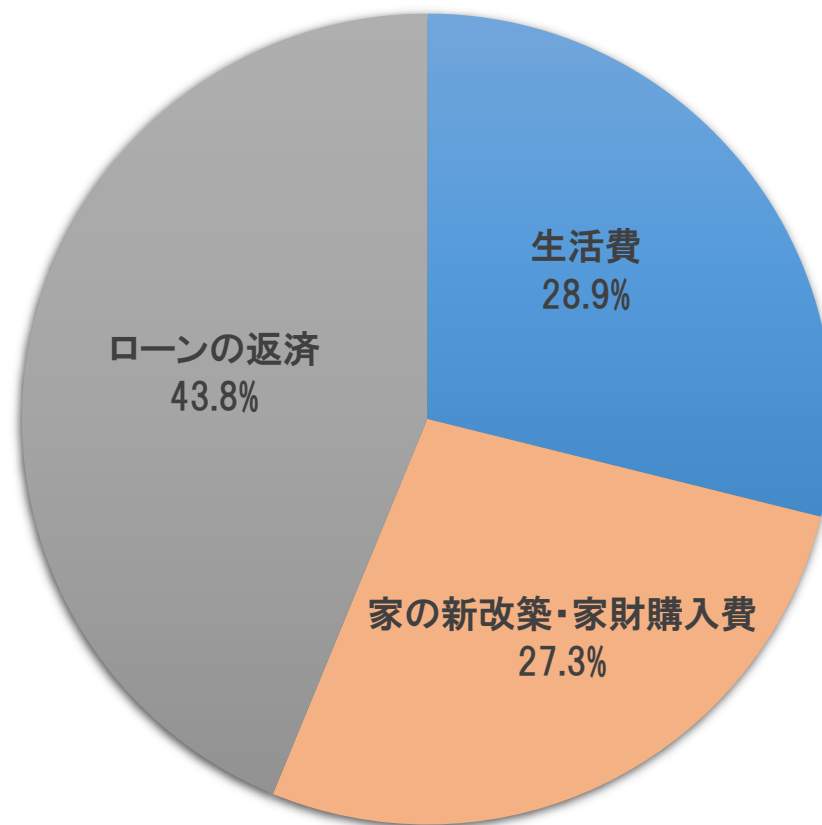
※決算から非現金の項目を除き、収益的収入・資本的収入を合算したもの

内 容	金額 (千円、税込)	割合 (%)
給料 (水道料金)	1,672,927	65.7
親からの援助 (一般会計繰入金)	332,633	13.1
祖父母からの援助 (国・県補助金)	3,942	0.1
ローンの借り入れ (企業債の発行)	402,200	15.8
その他収入 (各種手数料・加入金等)	118,594	4.7
貯金の取り崩し (補てん財源)	14,943	0.6
合 計	2,545,239	100.0



4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

家計簿に例えると…（支出編）

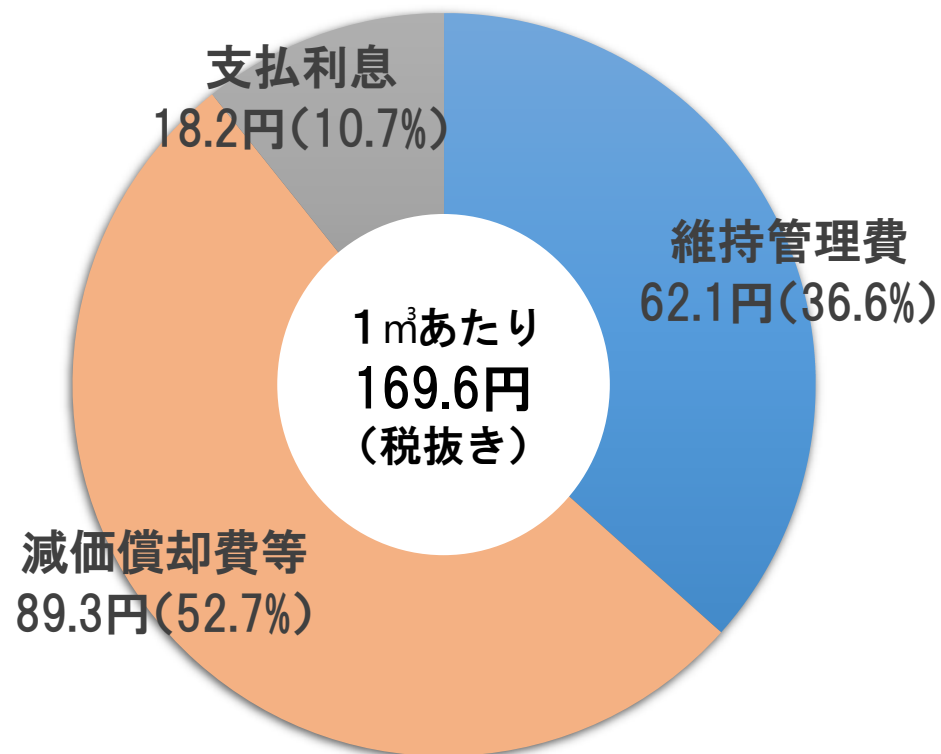


※決算から非現金の項目を除き、収益的支出・資本的支出を合算したものの

内 容	金額 (千円、税込)	割合 (%)
生活費 (維持管理費)	734,914	28.9
家の新改築・家財購入費 (建設改良費)	695,993	27.3
ローンの返済 (企業債償還金・支払利息)	1,114,332	43.8
合 計	2,545,239	100.0

4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

1 m³あたりの料金原価（給水原価）

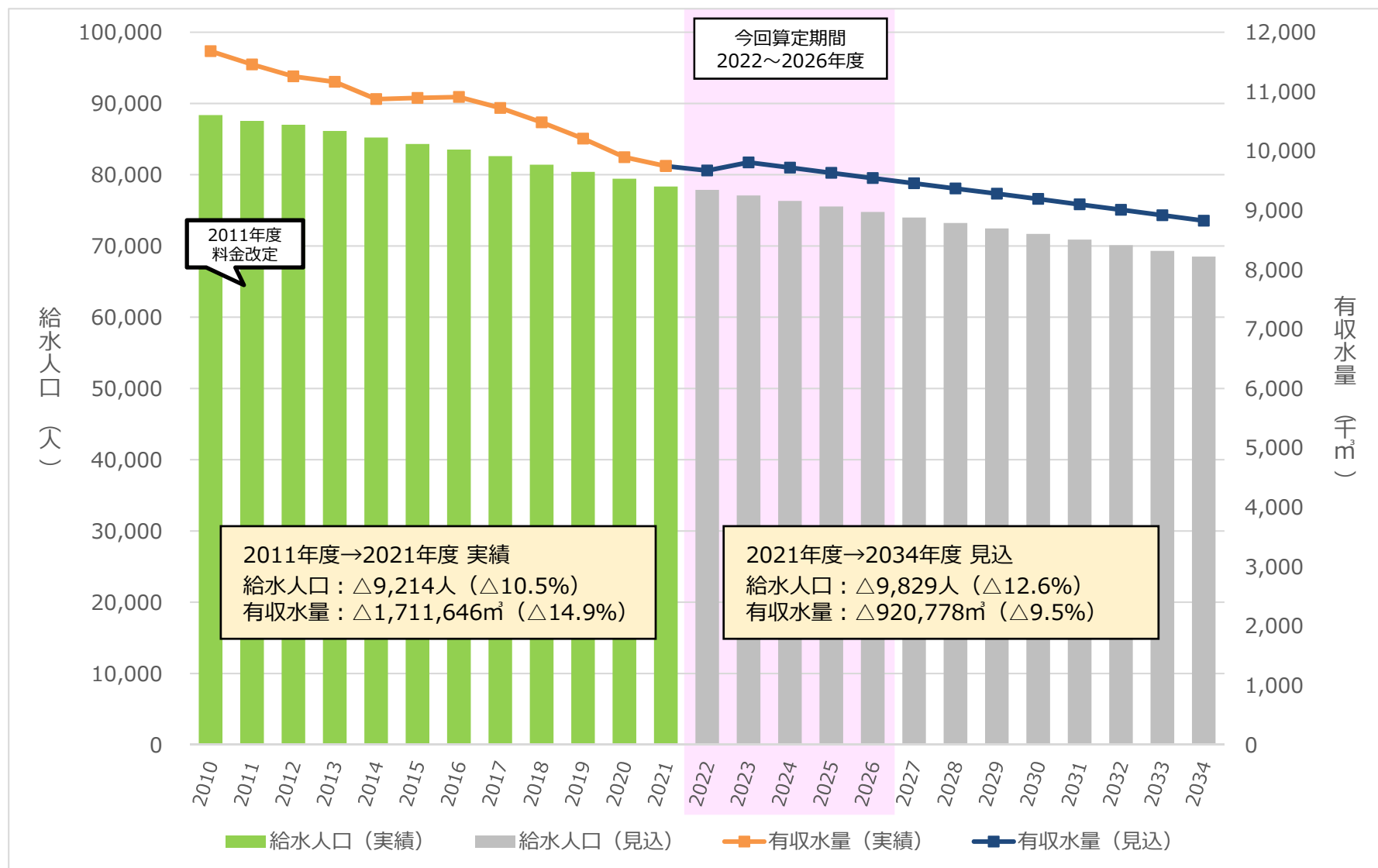


1 m³あたりの水道料金

⇒ **156.1円**（税抜き）

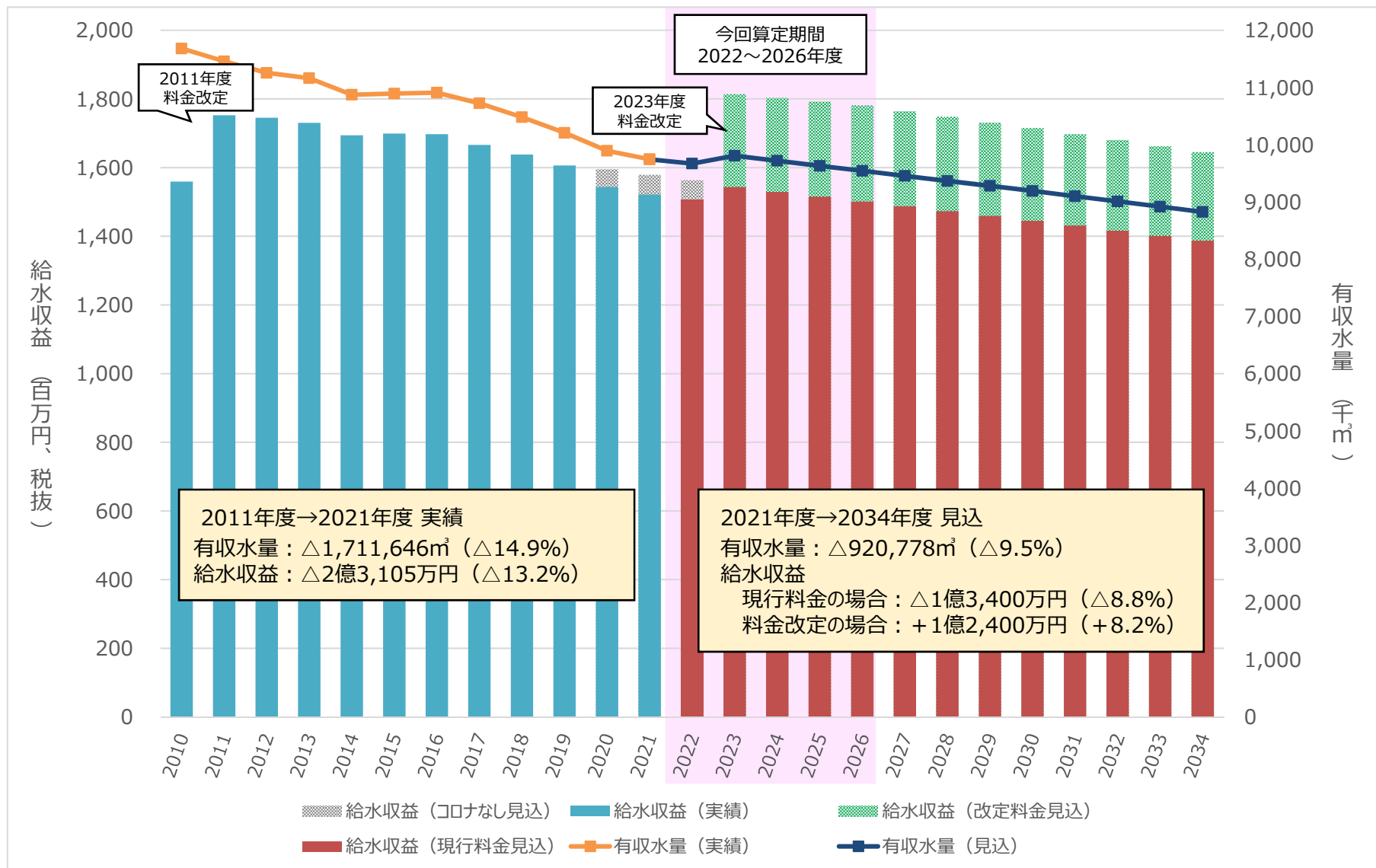
4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

給水人口と有収水量の推移と見込（2010～2034年度）



4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

給水収益と有収水量の推移と見込 (2010~2034年度)



4-1 水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

収支見通し (2022年11月版)

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

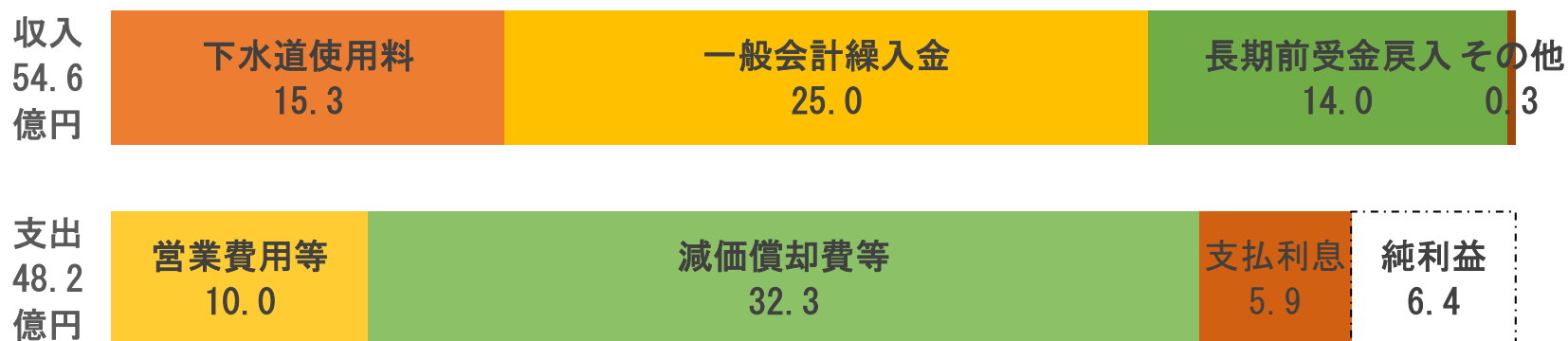
収益的収支 (百万円、税抜)		決算		料金改定											
		R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
項目/年度		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
収益的 収支	収入 (収益)	2,148	2,105	2,401	2,377	2,346	2,330	2,298	2,265	2,234	2,182	2,137	2,082	2,042	2,011
	料金収入	1,521	1,507	1,814	1,803	1,792	1,781	1,764	1,748	1,731	1,715	1,697	1,680	1,662	1,645
	一般会計繰入金等	247	246	239	230	216	211	202	192	182	151	132	100	87	81
	長期前受金戻入	274	261	259	255	248	248	242	237	234	228	221	214	205	197
	その他	106	90	90	90	89	89	89	88	88	88	88	89	88	88
	支出 (費用)	1,956	2,035	2,098	2,063	2,129	1,990	1,922	1,920	1,895	1,890	1,877	1,915	1,859	1,868
	維持管理費	651	770	812	793	872	688	718	687	676	687	674	728	674	695
	うち非現金支出分	16	44	132	123	89	18	59	18	19	21	17	63	19	31
	減価償却費	1,128	1,105	1,142	1,140	1,141	1,196	1,107	1,139	1,129	1,116	1,118	1,104	1,103	1,093
	支払利息	177	160	144	129	116	106	98	95	89	86	86	83	82	80
単年度損益	192	70	303	314	217	339	375	345	339	292	260	167	183	144	
累積損益 (利益処分後)	1,531	1,601	1,903	2,216	2,148	2,068	1,934	1,947	1,974	1,953	2,063	2,084	2,150	2,220	
						2022-2026 損益計			2027-2031 損益計						
						1,243			1,611						
資本的収支 (百万円、税込)		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
資本的 収支	収入	498	1,089	817	918	1,131	511	551	375	440	534	437	569	431	399
	企業債	402	916	533	659	779	429	477	299	334	441	324	411	331	293
	一般会計繰入金等	91	121	175	166	199	77	74	76	93	86	99	111	100	106
	国県補助金	4	53	109	93	129	5	0	0	13	7	14	17	0	0
	その他	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	30	0	0
	支出	1,633	2,562	2,344	2,608	2,931	1,972	2,066	1,676	1,724	1,832	1,557	1,738	1,520	1,446
建設改良費	696	1,586	1,361	1,588	1,917	952	1,034	677	770	972	752	960	745	666	
企業債償還金	937	976	983	1,020	1,014	1,020	1,032	999	954	860	804	778	775	781	
収支過不足額	△ 1,136	△ 1,473	△ 1,527	△ 1,690	△ 1,800	△ 1,461	△ 1,515	△ 1,301	△ 1,283	△ 1,298	△ 1,119	△ 1,169	△ 1,089	△ 1,047	
補てん 財源	使用額	1,136	1,473	1,527	1,690	1,800	1,461	1,515	1,301	1,283	1,298	1,119	1,169	1,089	1,047
	翌年度繰越額	3,324	2,942	2,839	2,598	2,148	2,069	1,935	1,949	1,976	1,954	2,064	2,085	2,150	2,220
企業債残高	10,461	10,401	9,951	9,590	9,356	8,765	8,209	7,510	6,890	6,470	5,990	5,623	5,179	4,692	
現金預金残高	3,240	3,086	2,904	2,732	2,374	1,996	1,890	1,806	1,861	1,903	1,950	2,038	2,042	2,093	
※未払金を除いた現金預金残高	2,927	2,576	2,406	2,166	1,715	1,637	1,510	1,527	1,556	1,539	1,652	1,677	1,746	1,821	

4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

2021（令和3）年度決算の状況

◆収益的収支（事業の管理・運営に関する収入支出）

単位：億円（税抜）



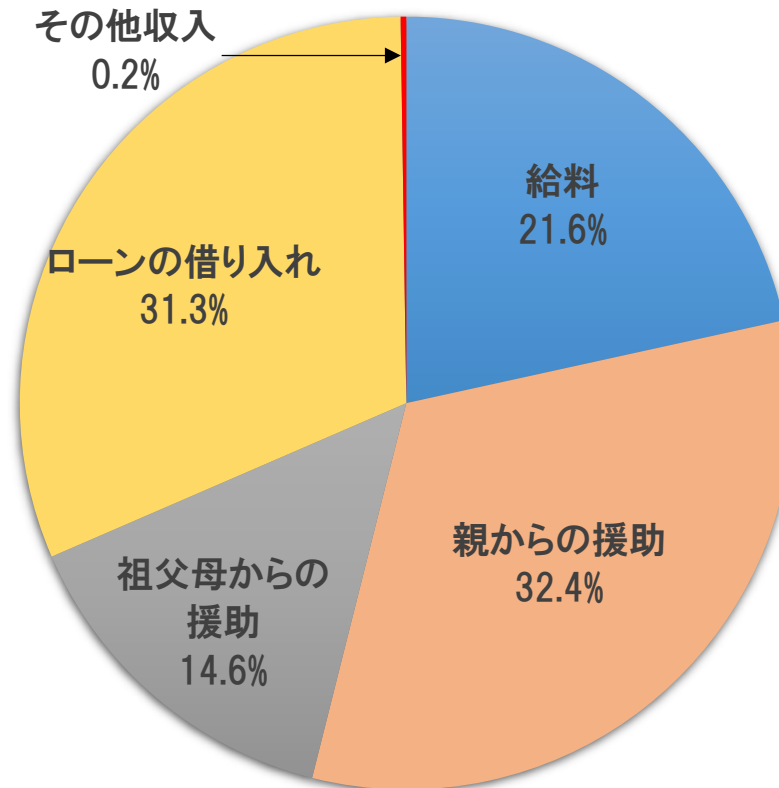
◆資本的収支（施設の建設・改良などに関する収入支出）

単位：億円（税込）



4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

家計簿に例えると…（収入編）

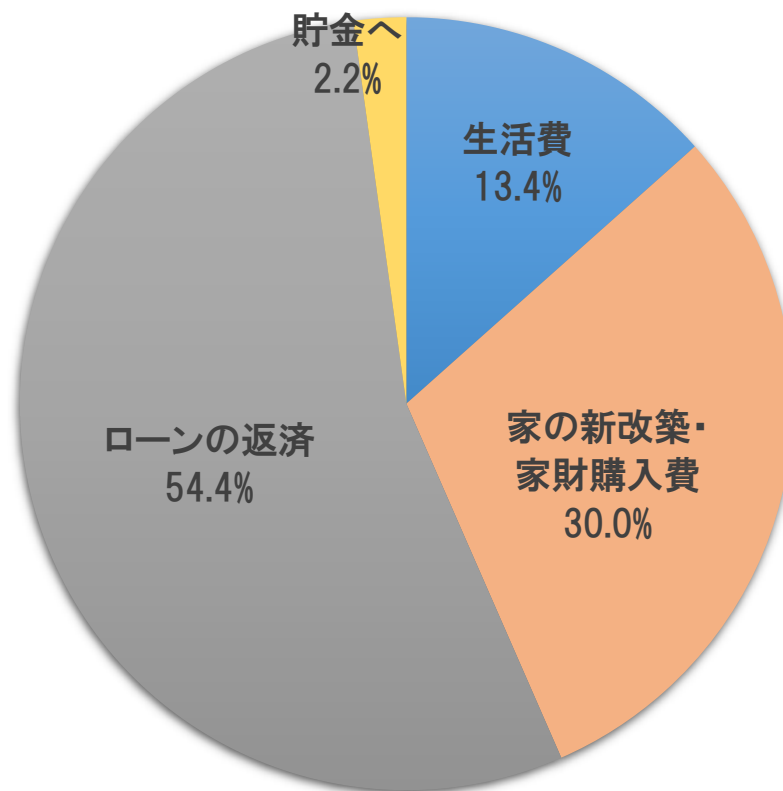


※決算から非現金の項目を除き、収益的収入・資本的収入を合算したもの

内 容	金額 (千円、税込)	割合 (%)
給料 (下水道使用料)	1,683,435	21.6
親からの援助 (一般会計繰入金)	2,527,084	32.4
祖父母からの援助 (国・県補助金)	1,138,252	14.6
ローンの借り入れ (企業債の発行)	2,441,200	31.2
その他収入 (各種手数料・受益者負担金等)	18,502	0.2
合 計	7,808,473	100.0

4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

家計簿に例えると…（支出編）

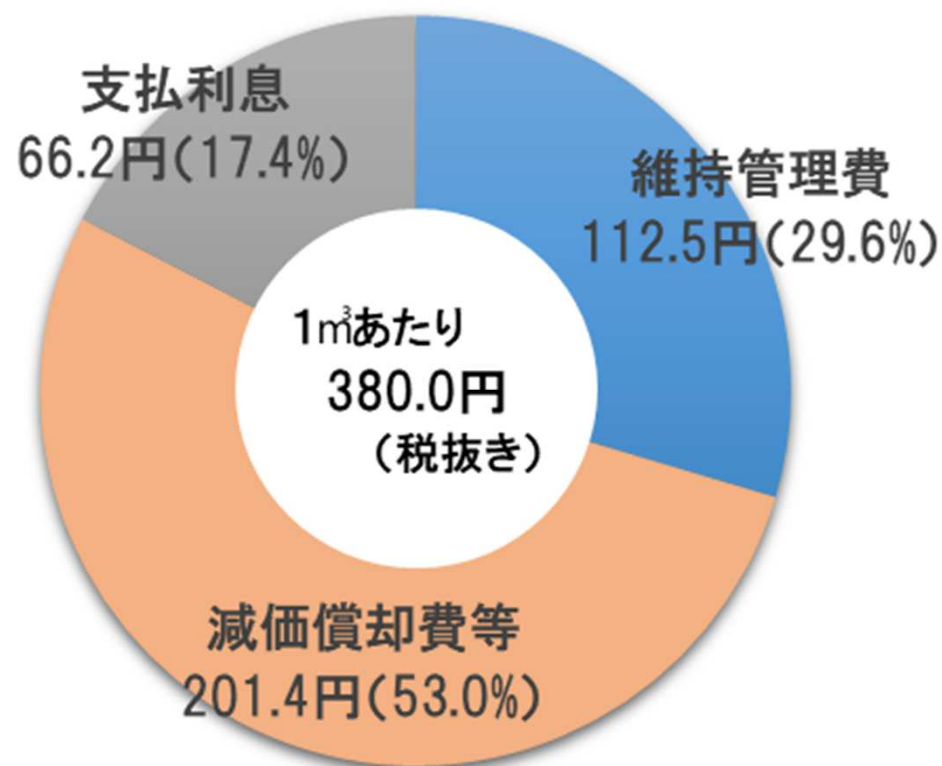


※決算から非現金の項目を除き、収益的支出・資本的支出を合算したもの

内 容	金額 (千円、税込)	割合 (%)
生活費 (維持管理費)	1,047,229	13.4
家の新築・家財購入費 (建設改良費)	2,344,270	30.0
ローンの返済 (企業債償還金・支払利息)	4,245,686	54.4
貯金へ	171,288	2.2
合 計	7,808,473	100.0

4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

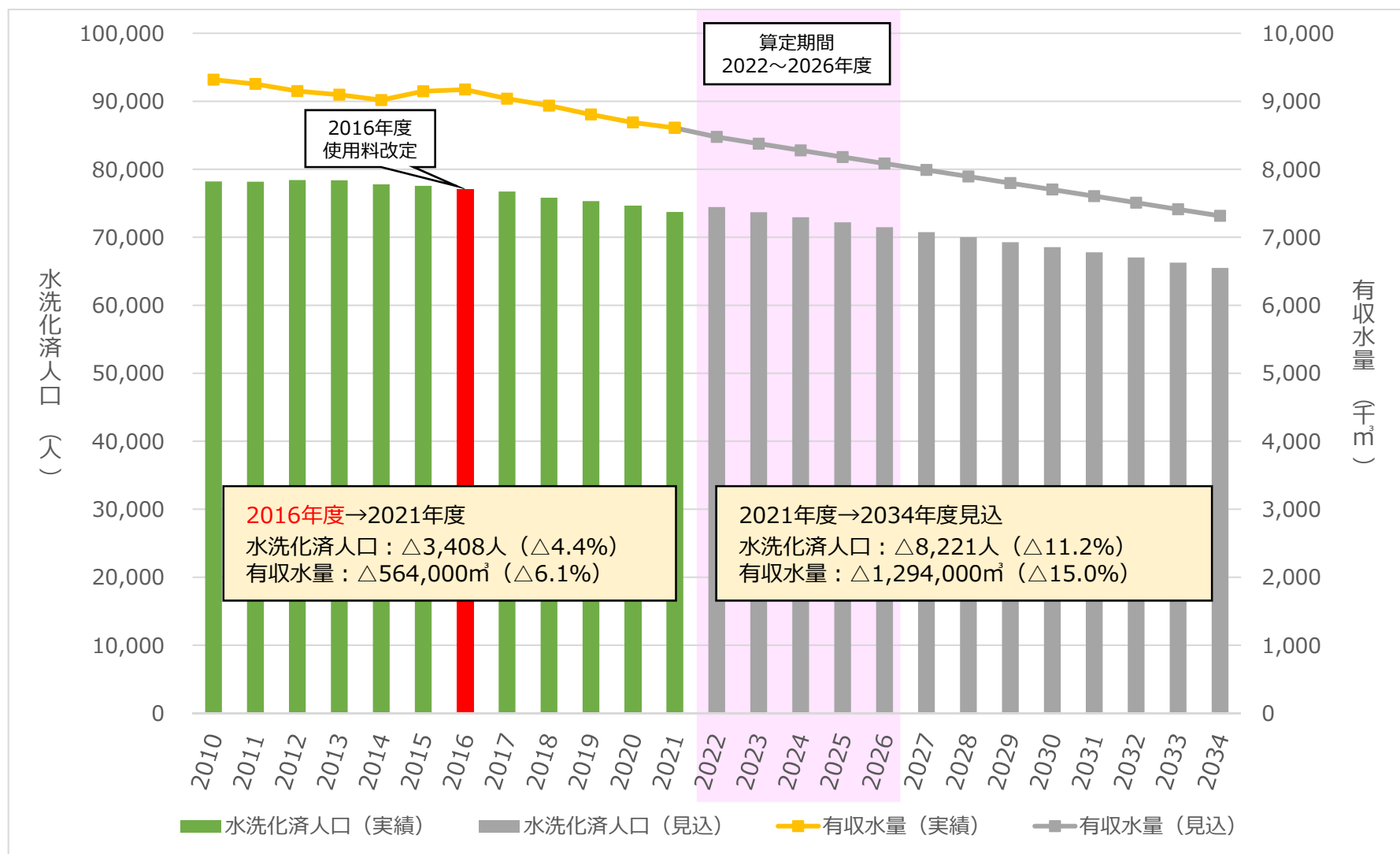
1 m³あたりの汚水処理費用



1 m³あたりの下水道使用料
⇒ **177.8円** (税抜き)

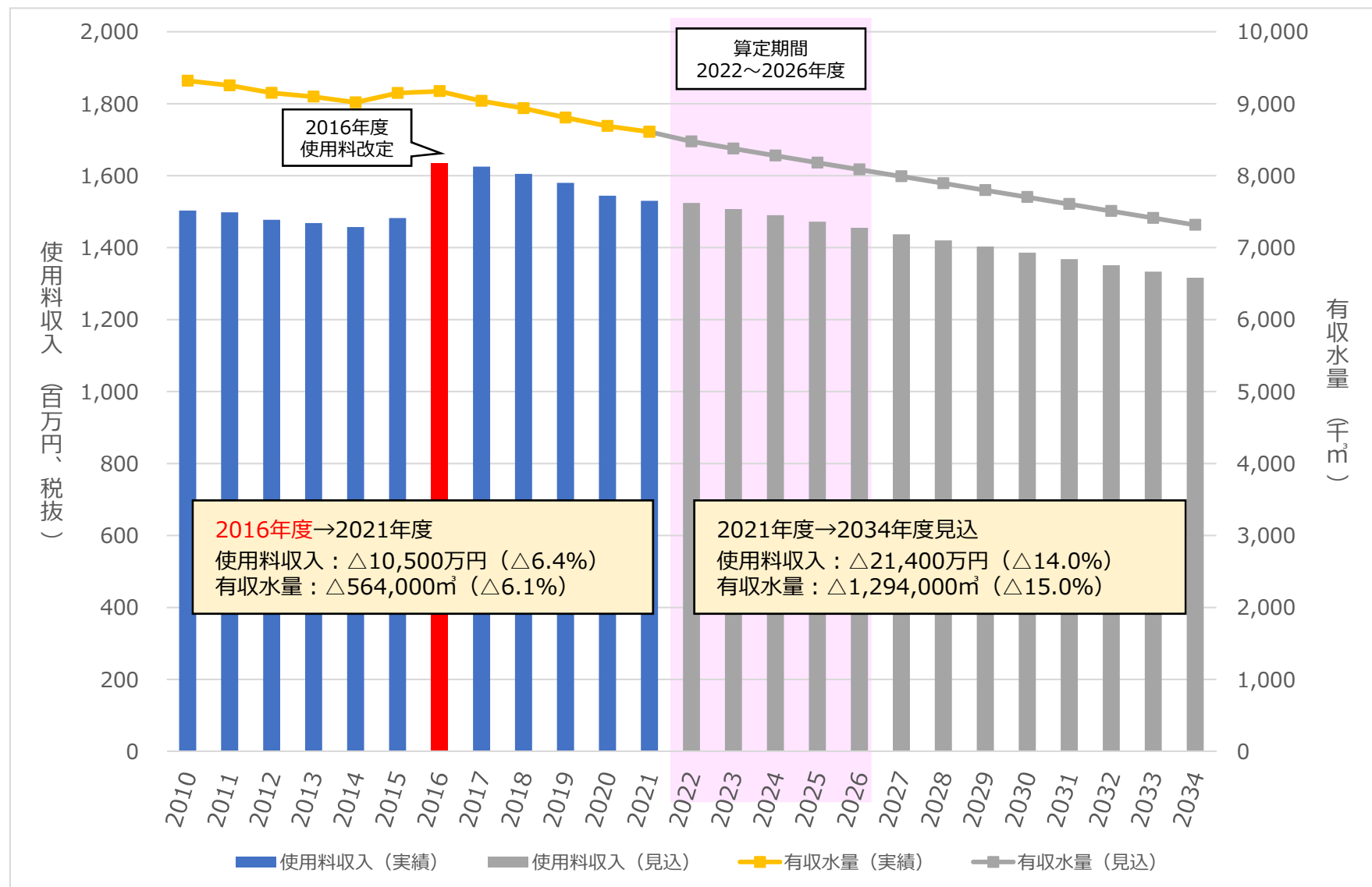
4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

水洗化済人口と有収水量の推移と見込（2010～2034年度）



4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

使用料収入と有収水量の推移と見込（2010～2034年度）



4-2 下水道事業 2021年度の決算状況と今後の収支見通し

収支見通し (2022年11月版)

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

収益的収支 (百万円、税抜)		決算 R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
項目 / 年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
収入 (収益)	5,455	5,440	5,402	5,365	5,349	5,348	5,264	5,182	5,176	4,821	4,618	4,333	4,135	4,058	
下水道使用料	1,530	1,524	1,507	1,490	1,472	1,455	1,437	1,420	1,403	1,386	1,368	1,351	1,333	1,316	
一般会計繰入金等	2,502	2,494	2,486	2,489	2,528	2,538	2,489	2,399	2,385	2,014	1,798	1,495	1,272	1,173	
長期前受金戻入	1,399	1,399	1,386	1,363	1,327	1,333	1,315	1,341	1,367	1,400	1,430	1,465	1,508	1,547	
その他	24	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
支出 (費用)	4,817	4,743	4,773	4,656	4,446	4,395	4,368	4,397	4,445	4,505	4,577	4,648	4,756	4,844	
維持管理費等	1,056	1,001	1,118	1,085	972	963	971	963	971	963	971	963	971	963	
うち、非現金支出分	60	20	70	70	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
減価償却費	3,170	3,212	3,192	3,163	3,119	3,125	3,132	3,194	3,248	3,318	3,382	3,456	3,543	3,623	
支払利息	591	530	463	408	355	307	265	239	226	224	224	229	242	258	
単年度損益	638	697	628	709	903	953	896	785	731	316	41	△ 316	△ 621	△ 786	
累積損益 (利益処分後)	0	0	0	0	0	0	0	412	1,143	1,459	1,500	1,185	564	△ 222	
		2022-2026 損益計					3,890	2027-2031 損益計					2,769		

資本的収支 (百万円、税込)		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
収入	3,598	4,885	3,694	3,481	3,618	3,187	3,195	2,807	2,745	2,349	2,344	2,570	2,494	2,313	
企業債	2,441	3,084	2,457	2,315	2,350	2,052	1,948	1,627	1,480	1,183	1,169	1,288	1,246	1,152	
一般会計繰入金等	12	19	0	0	0	0	0	0	0	12	23	0	0	0	
国庫補助金	1,138	1,782	1,236	1,166	1,268	1,134	1,246	1,180	1,265	1,152	1,151	1,282	1,247	1,160	
その他	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
支出	5,999	7,305	6,179	6,048	6,262	5,869	5,977	5,668	5,640	5,020	4,715	4,564	4,213	3,861	
建設改良費	2,344	3,609	2,468	2,319	2,506	2,256	2,481	2,348	2,518	2,308	2,314	2,552	2,483	2,309	
企業債償還金	3,655	3,696	3,711	3,729	3,755	3,612	3,496	3,319	3,122	2,712	2,401	2,011	1,730	1,551	
収支過不足額	△ 2,402	△ 2,419	△ 2,485	△ 2,567	△ 2,644	△ 2,682	△ 2,782	△ 2,860	△ 2,895	△ 2,672	△ 2,371	△ 1,993	△ 1,719	△ 1,548	
補てん財源															
使用額	2,402	2,419	2,485	2,567	2,644	2,682	2,782	2,860	2,895	2,672	2,371	1,993	1,719	1,548	
翌年度繰越額	1,471	1,741	1,867	1,979	2,148	2,319	2,368	2,259	2,096	1,769	1,500	1,304	1,117	971	
企業債残高	42,597	41,996	40,752	39,346	37,947	36,392	34,848	33,159	31,519	29,991	28,760	28,037	27,553	27,154	
現金預金残高	2,561	3,928	3,467	3,368	3,627	3,708	3,917	3,734	3,627	3,230	2,975	2,893	2,680	2,469	
※未払金等を除いた現金預金残高	1,145	1,396	1,530	1,651	1,830	2,013	2,067	1,966	1,812	1,494	1,234	1,046	869	732	